



連携支援センター



“縁”たより

湖西であんきに暮ら住まい

第22号
2021年 8月

<湖西市新型コロナワクチン接種について>

8月上旬には、65歳以上の希望者全員が2回ワクチン接種を完了予定です。また7月上旬から基礎疾患を有する方や 60歳～64歳の方、55歳～59歳の方へ順次接種券を発送しています。

Withコロナ * 認知症ケアのニューノーマル（新しい生活様式） *

今後も長期の新型コロナ対策の必要性が予測されています。認知症の人が、外出自粛や施設における面会制限等の影響から、心身機能の低下や認知症の行動心理症状(BPSD)の悪化を招いていませんか？病院・施設の感染対策の実施とともにWithコロナにおける認知症予防や要介護状態の予防を目的とした認知症ケアのニューノーマルをご紹介します。

*** マスク・フェイスシールドを使用していると上手くコミュニケーションができないことが多くあります。認知症高齢者は難聴や視野狭窄があるために、話しかける前に目線を合わせてアイコンタクトしてみましょう。**

- ① 目もとをいつもより大きく動かしてみましょう。
- ② 明るく聞き取りやすい声を出しましょう。
- ③ 手の動きやうなずきなど、ジェスチャーも入れて話しましょう。

*** 面会ができないことで不安や孤独感を抱えている認知症高齢者が多くみられます。会えないことによる不安や孤独により、活動性や食欲低下、抑うつなどを起こしやすくなります。ご家族からも「会えなくなった家族の顔を忘れるのではないかな？」と心配され医療や介護への不信に繋がることも懸念されます。**

- ① 家族に思い出の写真を持ってきてもらい部屋に飾り、ケアの時間に写真の思い出を聴いてみましょう。
 - ② オンライン面会、施設のお庭で屋外面会
 - ③ 直筆のお手紙の交換
- も喜ばれます。大事な家族との「記憶」の絆でつなぐケアの工夫を 考えてみましょう。

<発行：浜松医科大学 臨床看護学講座 老年看護学より>

* フ レ イ ル * 予防で健康生活

日本人の平均寿命は、現在男性81.4歳、女性87.45歳とのことです。生き生きと自分らしく長生きするためには、体・心・脳の活力が重要です。バランスのとれた状態こそが健康であり、生活をより豊かにするために欠かすことのできないものです。

「フレイル＝健康と要介護の中間の虚弱」は、年齢を重ねるとともに心と体の活力が衰えた状態をいいます。

*** 疲れやすくなった？ * 痩せたかも？ * 外出するのがおっくうになった？ フレイルのサインかもしれません。**

- ① 身体的フレイル（ロコモティブシンドローム・サルコペニア・骨粗鬆症等）
- ② 精神・心理的フレイル（意欲・判断力や認知機能低下・鬱等）
- ③ 社会的フレイル（閉じこもり・孤食等）

フレイルを予防して毎日いきいき生活するためには、

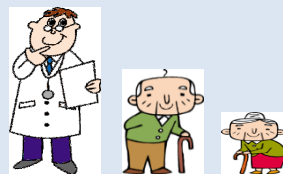
- 1 運動すること
- 2 栄養の良い食事をとること
- 3 しっかり噛むこと
- 4 社会参加をすること

をバランスよく実践することがとても大切です。

<介護要因>

<静岡県> 1位 認知症 2位 脳血管疾患 3位 悪性新生物 4位 骨折・転倒
男性 1位 悪性新生物 2位 脳血管疾患 ⇒ 生活習慣病予防が必要。
女性 1位 認知症 2位 骨折・転倒 ⇒ ロコモティブシンドローム予防が必要。

<湖西市> 1位 骨折・転倒 2位 悪性新生物 3位 認知症



<シズケア*かけはし>

静岡県・浜名医師会が推奨しています。セキュリティレベルの高いIT連携ツールです。市内で専門職・施設等ユーザーが増えることで、在宅医療介護連携の輪が広がります。

デイサービスセンターひなたぼっこ様が新しく、お仲間になりました。利用者様のかかりつけ医と連携が図れるとよいと考えられたとのことです。また浜名居宅介護支援センター様は使用端末機器としてパソコン1台 ipad3台を増やされております。チームで情報共有し検討ができたかと思ひ導入したとのことです。今後も市内の専門職の方々の登録が増え、連携支援の輪が広がっていくといいですね。

<認知症ピアパートナー交流会のお知らせ> 認知症の方の思いを聞く～私たちにもできることを一緒に探しませんか～

日 時：令和3年9月25日(土) 13:30～15:00 (13:15受付) 会 場：湖西市新居地域センター 2階大会議室
後日YouTube配信予定 !! 詳細は高齢者福祉課 白井まで

居宅介護支援事業所 = ケアマネジャーが常駐している事業所

介護認定を受けた方ができる限り住み慣れたご自宅や地域で自立して暮らせるように支える。心身の状況や生活環境を把握したうえで、本人や家族の希望等に沿ったケアプランを作成する介護支援専門員(ケアマネジャー)にて構成される事業所です。介護サービスを提供する事業所や関係機関とも連携して、ご本人やご家族の生活をサポートします。(R3.4より原則管理者は主任ケアマネジャーとなっています。)

【あらい居宅介護支援センター】
介護保険全般のご相談お任せください・
4名(うち主任介護支援専門員2名)の
介護支援専門員がご相談に応じます😊
☎053-594-7761
(24時間対応です)

✉ kyotaku-arai@shinwakai-shizuoka.or.jp
ご連絡をおまちしております。

利用者様や家族様のお困り事を親身に受け
とめ、迅速に対応しています。
また、いつでも笑顔で相談しやすいケアマネ
である事を心がけています。

居宅介護支援事業所 恵翔苑



Smile
Communication
～笑顔は相手への思いやり～

数少ない男性ケアマネも在籍しており、ご家族の
要望に応えることもできます。是非一度ご相談を！
ケアプランセンター湖西白萩

☎053-573-2001

ケアプランセンター陽菜 ☎ 053-574-1551

医療での関わり、介護での関わり、家族としての関
わり在宅での生活はこれらのことが絶え間なく連続
して繰り返されていきます。私たちは専門職として
利用者の状況を分析し必要な介護計画を作成します。



社会福祉法人

南浜名湖会

光湖苑在宅介護支援センター

介護の必要な方に寄り添い、
より良いケアプラン作成を
ご家族と共に考えていきます。



「湖西市社協 介護センターこさい」は今年の4月か
ら「湖西市社協 介護センターあらい」と一つになり
7人体制で対応しています。事業所の場所はおぼとの2
階です。

『その人らしさを大切に』を
モットーに、迅速・丁寧な対応
を心がけています。よろしく
お願いいたします。



サンシティあらい

には、グループホーム、デイサービス、小規模多機
能型居宅介護が併設されています。ぴったりのサー
ビスをご案内いたします。

地域で笑顔で暮らしましょう！

浜名居宅介護支援センター

住み慣れた家でじぶんらしく暮らしたい！
そんな気持ちを応援します
ぜひ！私達にお任せください



浜名病院は人間的な温かみにあふれた、医療と介護の
先進病院として、地域の皆様に「安心と信頼」を提供します。

先日ご協力いただきました「縁」からのたより(メール)の購読状況アンケートにて「今後在宅医療・介護連携推進の為、どのような情報が必要だと思いますか?」との問いに市内介護保険事業所のそれぞれの紹介や特徴、専門職としてのお考えを掲載してみたいかがかとのご意見がございました。そこで、市内の介護保険事業所(在宅利用サービス)を順次紹介させていただくことになりました。参考としていただければ幸いです。
＜今回は7/15現在の居宅介護支援事業所の紹介をしています。＞

連携支援センター「縁」(ゆかり)開設時間 月、火、木、金の9:00~16:00電話: 053-576-4900(直通)FAX: 053-576-1220

◇関係者の皆様で共有したい情報、知りたい情報がありましたら当センターにご連絡下さい。メール: kourei@city.kosai.lg.jp

編集 連携支援センター「縁」 発行 静岡県湖西市役所健康福祉部高齢者福祉課

